



介護事業の人材確保のために

副代表理事 柏倉 二男

介護事業者から、職員を募集してもなかなか応募してもらえない。」などの話を良く聞く。今でもその状況は変わっていない様で、今後も人手不足が予想され、これからが本当に心配だ。この事は、介護予備軍の一員である私としても大問題である。

さて、この事と似たような状況にあるのは全国の大学である。入学人口が減少し、各大学が生徒募集にしのぎを削っている。各大学のオープンキャンパス「ラッシュ」をみればその事が良く判る。

受験生と保護者を学校に招き、学校の特色や就職時の利点、奨学金や寮生活について、在校生やOBまで動員して説明するのである。

ひるがえって介護事業者は人材募集のためにどのような具体的に「売り込み」を行っているかを見れば、はなはだ心もとない。「売り込み」という言葉が

自尊心を傷つけるのだったら「介護事業の具体的中身を理解して頂く努力」としたら理解できるだろう。

これはつまりNPO法人宮城県認知症グループホーム協議会が毎年実施している「実践報告会」そのものではないか。報告会」が内輪の研究会のみで終わっているとしたら、いかにも不体ない。

今の社会的現象の一つとして人々は介護事業関連の情報に飢えているといっても過言ではない。

その証拠にスマホゲーム業界の大手業者「グリー」が「介護施設の口コミ検索サイト」を開発して「売り」の中心にしようとしているではないか。

「実践報告会」も大学のキャンパス風に学生や、出産、子育てで退職した女性の再就職のための学びなおし 国の補助も期待できる」と位置付けて

大々的に一般向けに企画すべきではないだろうか。

待遇にしても現代の若い人たちが重視するのは休暇である。これは介護事業の泣き所の如く言われる事もありますが、これにしてもやり方一つである。

あらかじめ各人の連続休暇(年間二週間位)を設定する。ただし穴のあく部分は新たな人手でうめたリせずその条件で各部署毎、各チーム毎に工夫のための討議をする。

そうすれば年間一人二週間位のすき間は出てくるのではないだろうか。

要は職員のチームワークと自主的な工夫である。ただし事業者がこれに味をしめて人件費削減に利用しようなどしたら、痛いしつぺ返しに合うことだろう。職員の工夫は職員のために生かす、この信頼関係が大事なのである。

働く人の創意工夫を活かせる明るい職場、この事を世間の人達に理解してもらう努力、この事こそが介護事業には早急に必要なのである。

「どうぞよろしくお願いま

す」



長年ボランティア活動の指導を受けながら共に関わってきたり、東日本大震災の津波で被災者となった私

を今日まで励まし支えていただいた尊敬する先輩からご推薦をいただき調査員の研修を受講させて頂く事になりました。

研修では初めて聞く言葉ばかりが多く出てきて、覚えられるのか不安になりましたが、事務局はじめ関係する皆さんの温かいご指導により無事調査員になることが出来ました。

8月から同行研修を含め3事業所を訪問させていただきました。不安と緊張の入り混じる中でしたが、どこも職員の皆さんに温かい笑顔で迎えられ、和やかな雰囲気の中で無事調査が終了したことに感謝すると同時に、主任調査員の対応の素晴らしさにも感心させられるばかりでした。

施設の方々も笑顔を絶やさず前向きに入所者と向き合い、楽しく過ごしてもらえよう努力を惜しまない姿が印象的でした。今後私も一万人市民委員会の活動に少

「毎日が、新人」

星 美恵



私が、一万人市民委員会宮城に入会した動機は、友人の紹介もありましたが、以前から介護情報のサービスについて

は、関心があり必須とっておりました。最近、介護事業所の増加に伴い、多々社会を惑わすこともあります。

介護については、実に奥深く、一人ひとりの人生その姿に深くかかわり、そして非常に大切な命の問題と向き合う事です。

今後の超高齢化社会を希望に満ちた、そして安心した社会になれる様、一新人調査員として、介護を必要とする本人がその人らしい生き方ができる様に！！

会の理念と目標を念頭とし、先輩のご指導

「こんにちは」

小山 廣城



僕は、会社員として典型的な縦型社会で勤めてい

たせいか第二の人生は、現役時代と異なる分野でチャレンジしてみたいと思っていたところ、縁あって、「介護サービス情報の公表」制度の調査員養成研修を受講することができ、おかげさまで、調査員登録証明書をいただきました。

「介護サービス」の知識に乏しく座学では、なかなか理解できず不安のなかで先日、事業所への同行研修を行いました。先輩調査員から調査に当たっての基本的な考え方・調査のポイント等親切丁寧にご指導いただき実践できたことは、何よりの財産になりました。

少子高齢化社会で平均寿命が80歳以上の今日、人生後半を「一万人市民委員会宮城県民の会」に入会し、「介護サービス情報の公表」制度の調査員としてお手伝いできるよう努

「情報の公表 調査員になって」

土屋 伊都子



人前に立つことが得意とは言えない私が、調査員のお仲間に加えて頂く事

になり、同行研修そして一回目の調査を終えました。未知の分野への第一歩に期待と不安が混在し緊張の連続でした。

先輩の方々の経験豊かで確実な、また、心に余裕を持った丁寧な調査は、事業所の方に信頼されどんな事態にも対応できると学びました。

60代なかばにして社会とつながる機会を得ましたことに感謝の気持ちと自己研さん

いなければいけません。

「介護研修を受講して」

丹野 昭夫



介護サービス情報公表制度の調査員をされている友人から「自分や家族のこれからの介護施設の選択に役立つので是非一緒に。」との思いがけない一言が、私が研修を受講するキッカケとなりました。

研修を受ける以前は、介護・認知と言えは老人ホーム・デイサービス・ショートステイの三文字位しか浮かばなかったのですが、渡された資料には施設が多種多様に細分化されて、又聞き慣れない介護用語が多々あり驚きました。

しかし受講するにつれて介護関連用語にも少しずつ慣れ親しみを感じるようになりました。

今後は、それを調査するうえで少しでも

今後、それを調査するうえで少しでも

「～～よろしくお願ひします～」



平成26年度4月より、情報の公表の調査員と外部評価員の研修カリキュラムを受け、8月に研修実地調査に同行しました。

福祉関係は携わった事も無く、専門用語も全く知らない、ズブの素人です。

アルツハイマー型認知症の実母の介護を通して、疑問に思ったことを、相楽理事に聞いて頂いた時に、この制度がある事を教わりました。自分の勉強の為、軽い気持ちで受けた研修は、理解能力を超えていました。

8月18日の同行研修は、事前の打ち合わせで、佐藤理事に丁寧で分かり易く教えて頂いたのに、頭の中が真っ白になり、気が付いたら終了してしまいました。帰宅後は不安で頭の上に重石が乗った状態でした。2回目は、9月11日情報の公表の調査員として、相楽理事(主任調査員)と一緒に調査で、相手の質問に対する、具体的で的確な返答に驚き、自分の不勉強さ・未熟さを痛切に感じました。

「経験を積んでいけば大丈夫！」の励ましの言葉を、心の拠り所に少しづつ進んで行きたいと思ひます。先輩の皆様、どうぞご指導

「初めまして」

對馬 道代



四月末の二日間の講習を受け、八月の研修を終えて、調査員として、ヨチヨチ歩きを、始めた對馬道代です。

先輩調査員の方に、同行させて、いただき、事業所の方々との、お話を横で、聞きながら覚える事、勉強を、することが、たくさん有り、ついて行けるのか、心配ですが、頑張っていきたいと思ひます。

先輩調査員の方に、同行させて、いただき、事業所の方々との、お話を横で、聞きながら覚える事、勉強を、することが、たくさん有り、ついて行けるのか、心配ですが、頑張っていきたいと思ひます。

「よろしくお願ひします」

小川 豊



今年、4月より介護サービス情報の公表調査員の養成研修・同行研修を経て、調査員としての活動を開始させていただきました。

前職とは別世界からの新入りですが、少しでもお手伝いになればと思ひています。

今後、どうぞご指導をお願いいたします。

「同行研修」

福原



グループホームの研修になりましたが、事前打ち合わせにて各資料での

説明をよく理解できず、且つ参考資料を参照しても「何を調査し、どう記録する」ということ整理出来なかった。

ホーム調査で利用棟参観や昼食参加を通し職員の利用者個々人への声かけや作業しながらの見守り等の実情(実態)を見ることが出来ました。

ホームの住環境や職員の明るい働き方をみ

「一万人市民委員会に参加して」

佐



先輩からお声をかけていだいて参加しました。子供達もそれぞれ家庭を持って独立し、今は夫婦二人の気ままな年金暮らし。

でも、いずれ施設のお世話になる日がやってくる。その時の為にといい気持ちもあり、扉を開けてみました。よろしくお願ひいた

「公表調査員になって」

金野 清



今年4月、誘われるままに公表調査員に登録・研修受講後、8月から調査活動に従事している金野と申します。

調査活動開始以降、数箇所の調査を体験、数多くの介護関連資料や現場を見るにつけ、つたない経験ながらも介護の大変さ・難しさ等「介護世界の広さ」を垣間見た思いです。現場で介護業務に携わる職員やボランティアの方々の日々のご苦労や崇高な気持ちにも思いを馳せれば唯々頭が下がる思いです。

高齢化社会の中、自身も高齢者の仲間入りをして、より身近な問題として捉え「他人任せの老後」を自ら方向性を見出せる良い機会でもあり、介護サービス向上の一端を担いながら高齢化社会の中で少しでも今後の生き方の糧になればと思ったところです。

今後、先輩調査員のご指導の下、介護サービスの一層の向上・充実のため、調査活動の重要さ等研鑽を深め活動を通じて微力ながら尽力していきたいと思えます。社会の為、家族の為、そして自分の為に……。ご教授の程よろしくお願ひします。

「地域密着型サービスに接して」

伊東 勝道



妻の友人から、宮城県地域密着型サービス外部評価委員に関するお話をお聞きした

のが今回の参加のきっかけです。

二年ほど前、高齢で認知症だった母を見送った事もあって、今回のお話に関心を持って申込み、研修を受ける事に致しました。

実習の訪問研修は、なつぎ塾さんでした。『理念に基づく運営』方針は介護をするスタッフさん達すべてに行き届いており、入居者さんへの立場に自然に寄り添っている姿勢に感銘を受けました。

入居者さん達は畑で野菜を作ったり、庭で草花を楽しんでいられたようでした。きっとゆるやかな日々の時間の流れが、あの屈託のない笑顔になっているのでしょう。

超高齢化の社会において、この分野は無関心

「初めまして、よろしく御指導をお願いします」



今年より調査員として仲間に入れていただきます。8月21日研修生で施設訪問調査に同行。

実際体験して自分の知識のなさが痛感されました。前職は調査を受ける側での生活でしたので、今後は利用者様の視点に立ち、調査員の先輩方の活動を見ながら知識を取り入れ勉強していきたいと思えますので、御指導支援をよろ

「一本の電話から……」

森 みさを



一本の電話から始まった介護関係の座学研修を終えて、同行研修から

ハラハラドキドキの調査員として、緊張しながら先輩について動き始めて一カ月がたちました。

伺ったどの施設も、誰もが老いる現実を受け入れて、人としての尊厳を傷つけないように、一人ひとりを大切にお世話している様子が記録されていて、職員の皆さまの努力と大変さが良く分かりました。(笑顔も印象に残りました)

施設職員の大変さを理解しながら、利用者側

「よろしく……」

坂本 和子



調査員の仕事を通じて、これから向える自分の老後について考える機会にしていきたいと思えます。

「情報の公表調査員として」

伊藤 友行



私が情報の公表調査員をやってみないかと声をかけられたのが、ちょうど東日本大震災後、秋田の田舎で一人暮らしをしていた義母がスーパーで食料品や日用品が不足し、一人で暮らすことが出来なくなり、富谷町で一緒に暮らし始めて三年を経過した頃でした。義母は週4日のデイサービスに通っていますが、介護の大変さが身に染みてきたところで、介護サービスの利用者の家族の立場で調査員をやってみようと思いました。

4月の養成研修、7月のフォローアップ研修、8月の同行研修を経て新人調査員として三か所の事業所の調査を体験しました。そして事業所の介護サービスの仕組みについても深く理解することが出来たとともに、介護従事者の献身的な介護に頭が下がる思いでした。

今後も調査員としての各所の事業所を廻

「新人の挨拶」

菅原 道憲



今年度から「介護サービス情報の公表」と「地域密着型サービス外部評価」の調査員

としてお世話になります菅原道憲です。どうかよろしくお願いします。

今まで介護等に縁の無い生活でしたので、どのような施設があり、どのような介護を実施しているかさえ全く知りませんでした。そのため、教官が何を言っているのかも理解できず、講義・演習・フォローアップ等も残念ながら、黙って静かに、ただ話を聞いているだけでした。すみません。

このたび訪問調査実習に参加し、先輩調査員の方の事前準備の深さと、適切な調査実施に感服しました。資料の読み込み、質問事項の精選、適切な質疑、内容確認、現場確認等々勉強させられる事ばかりでした。

先輩調査員の方に少しでも近づけるよう努力していきたいと思えます。これからの御指

「実習を終えて」

櫻井 洋子



数か月前の定年退職を機に、のんびり余生をと休息しておりましたところ、早

坂さんより未知なる「評価調査員」のお声がけをいただき、また新たな世界への自身の可能性を確認する機会を得ました。

七月、県庁に於いての研修では各講師さんの懸命さやお人柄に圧倒され、当初「私にできるだろうか？」と少々不安だった気持ちも払拭されて、むしろ感動と意欲を覚えながらの帰路となりました。

仙台では、今年初めての真夏日となった八月二十日が、外部評価調査員研修の実習日でした。実のある研修になりましたこと、主任調査員さんと調査員さんのご指導に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

九月二十一日に無事、終了証をいただきました。後は本格的な活動への参加となりますので、事務局の方々、そして皆様、種々

「友人の誘いに・・・」

松田 美穂子



この度調査員の仲間入りをさせて頂き、活動を始め

ばかりの新人です。友人の誘いに軽い気持ちで、引き受けてしまいました。研修を受けましたが、内容がよく理解できず。また、事業所に行っても、緊張するばかりで、先輩調査員の方々には大変迷惑をかけてしまいました。

勉強不足と責任感を覚え、私にできるのだろうか不安でいっぱいになりました。それでも、いろいろな事業所に行ってみようと思っております。

私にどこまで活動することができるのか分かりませんが頑張っています。ご指導宜

共同主催者代表談話

代表理事 大川 昭雄

9・25シンポジウムは、台風16号の直撃を回避できるという気象条件にも恵まれ、6ヶ月以上にわたる

関係者及びスタッフの努力が実り成功を収めることができました。

「無縁社会」は、みんなで創る新たなご縁で乗り越える。

「地域包括支援センター」の機能強化が大前提

「地域拠点づくり」と「医療との連携」こそが出発点

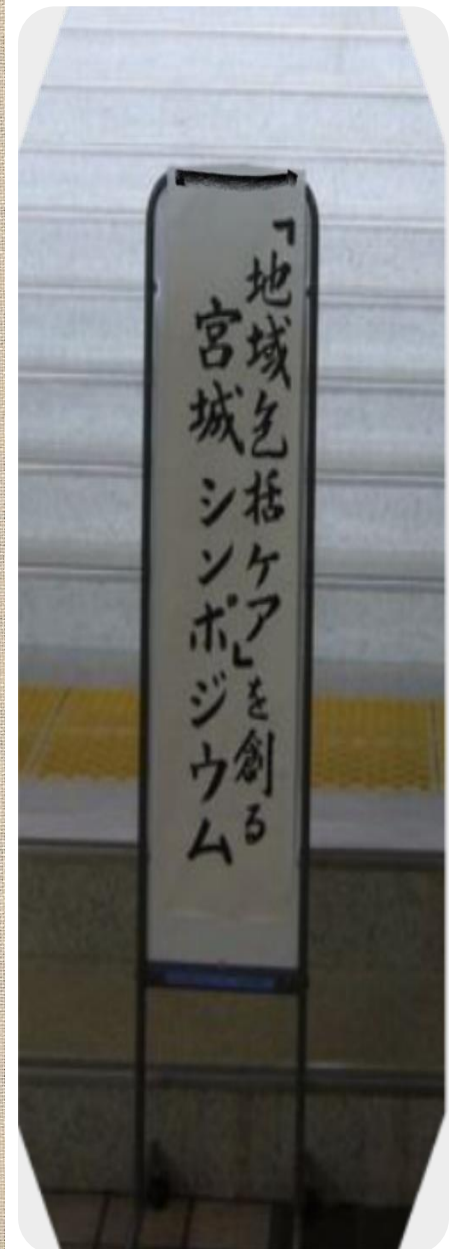
「行政任せ」でなく地域全体で取り組む 人財育成が最重点、
という共通認識が出来上がったと思います。

これで、利用者(住民)による、利用者の、利用者のための「地域包括ケア」のバックボーンは確立されました。


このような視点を相互に尊重して、それぞれの地域の特色を出し合って、明日から直ちに組織づくりを進めたい。複数以上の地域で、もう胎動は開始されたと感じます。

100の地域包括ケアができれば、利用者(地域住民)のコンセンサス(合意)を得たものであれば100通りであっても構わないと考えます。

このシンポジウムの共催11団体は、宮城県内全地域の「地域包括ケア」スタートを目指し、引き続き連帯・支援・見守りを継続することにしようではありませんか。



利用者の(住民)、利用者による、利用者ための『地域包括ケア』を創る宮城シンポジウム
 ～～基礎講演資料～～



『無縁社会は怖くない』
 ～～みんなで創る新たなご縁～～

高齢社会を女性の会
 理事長 樋口 恵子

◆大介護時代・ファミレス社会に見えて来る新たな課題

- ★介護は究極の地産地消サービス
- ★地域包括支援センターを小学校区に
- ★「介護と看取りの場に在宅」は国民的願望
- ★介護家族への支援体制の整備・強化
- ★介護者の確保・質の向上
- ★ファミレス(家族の減少)時代をコミサポ社会への構築
- ★平均寿命と健康寿命の差を埋める健康づくり



◆地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業の充実

- ①在宅医療・介護連携の推進
- ②認知症施策の推進
- ③地域ケア会議の推進
- ④生活支援サービスの充実・強化
 - * 介護サービスの充実は、前回改正による24時間対応の定期巡回サービスを含めた介護サービスの普及を推進
 - * 介護職員の処遇改善は、27年度介護報酬改定で検討



地域包括ケアシステムの構築に向けて



平成26年9月25日(木)


厚生労働省老健局振興課長
高橋 謙司



利用者の(住民)、利用者による、利用者ための『地域包括ケア』を創る宮城シンポジウム
 ～～事例報告資料～～

「地域包括ケア」を創る宮城シンポジウム

地域包括ケア体制の中での「こうほうえん」の役割と方向性



2014年 9月 25日
 社会福祉法人 こうほうえん
 理事長 廣江 研

◆境港市の地域包括ケアと「こうほうえん」の役割

基本方針

- ①行政任せでなく地域全体で取組む
- ②圏域全体でその特色に合った体制を作る
- ③全世代、地域全員参加で取組む
- ④社会福祉法人として積極的に参加する
- ⑤圏域の再構築と新たな産業の振興
- ⑥「向こう三軒両隣り」の再構築



パネルディスカッション ～いろいろな角度から力を出し合って～

利用者の(住民)、利用者による、利用者ための『地域包括ケア』を創る宮城シンポジウム
～パネルディスカッション資料～

宮城県の地域包括ケア体制の構築に向けた取組について

14年9月25日

宮城県保健福祉部長寿社会政策課
課長 村上 靖



◆地域包括ケア体制の構築に向けた取組

- ★多職種連携体制の確立
- ★高齢者の健康維持・増進
- ★生活支援サービスの充実、住まいの確保
- ★介護基盤の確保、認知症対策の推進
- ★介護・福祉人材の確保

◆地域包括支援センターの意味

地域……住み慣れた地域で、自宅で暮らし続ける
 包括……すべて、何でも、何時でも、何処でも、誰でも
 支援……安心な暮らしを、安全な暮らしを守り続ける
 センター……ワンストップサービス、相談支援の拠点



利用者の(住民)、利用者による、利用者ための『地域包括ケア』を創る宮城シンポジウム
～パネルディスカッション資料～

『地域包括ケア』を創る宮城シン

地域包括支援センターの役割と機能強化について

仙台市地域包括支援センター連絡協議会
会長 折腹実己子



利用者の(住民)、利用者による、利用者ための『地域包括ケア』を創る宮城シンポジウム
～パネルディスカッション資料～

地域包括ケアシステムに向けて ～地域で安心して住み続けるために～

NPO法人宮城県認知症グループホーム協議会 会長
株式会社 トレ代表取締役

蓬田 隆子



◆地域包括ケア 5つの視点

1. 医療との連携強化
2. 介護サービスの充実強化
3. 予防の推進
4. 見守り・配食・買い物など、多様な生活支援サービスの確保や権利擁護など
5. 高齢者になっても住み続けることのできる高齢者住まいの整備(国交省と連携)

◆これからの課題

- ★包括支援センターなどを中心とした、地域の諸団体(町内会、老人クラブ、民生委員、地区社協、医師会、ボランティア)によるネットワークの組織化
- ★福祉・介護サービスを提供する団体間のネットワークの組織化



利用者の(住民)、利用者による、利用者ための『地域包括ケア』を創る宮城シンポジウム
～パネルディスカッション資料～

地域包括ケア推進のための 基盤整備と社会福祉法人の役割



仙台市老人福祉施設協議会

会長 高橋 治

(社会福祉法人仙台ビーナス会理事長)

シンポジウム模様

利用者の(住民)、利用者による、利用者ための『地域包括ケア』を創る宮城シンポジウム



◆2014年度第2・3回理事会が開催されました

第2回、3回定例理事会が2014年7月15日(火)、9月17日(水)仙台市生涯学習支援センター5階会議室において開催されました。

当該、理事会における主な報告及び審議事項は下記のとおりです。

◆第2回理事会 報告・審議事項

- 1、9/25開催シンポの準備状況について
- 2、メール処理など事務局体制の改善について
- 3、介護サービス情報の公表の調査活動について
- 4、地域密着型サービスの外部評価活動について
- 5、福祉サービス第三者評価の調査活動について
- 6、諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について
- 7、残高試算表(6月末)と前年度の税務処理について
- 8、広報、組織、総務関係の活動について
- 9、第3回理事会の開催日程について
- 10、その他

◆第3回理事会 報告・審議事項

- 1、9/25開催シンポの準備状況について
- 2、三役会議の報告について
- 3、介護サービス情報の公表の調査活動
- 4、地域密着型サービスの外部評価活動
- 5、福祉サービス第三者評価の調査活動について
- 6、諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について
- 7、残高試算表(8月末)について
- 8、広報、組織、総務関係の活動について

その他

※詳細については事務局備付の議案書を閲覧願います。

◆平成26年度介護サービス情報の公表調査員全体研修が開催されました

平成26年度介護サービス情報の公表調査員全体研修が7月2日(水)フォレスト仙台において、一万人市民委員会、介護サービスネットワークみやぎの調査員を対象に開催されました。全体で百数名の内、一万人市民委員会から4拾数名が参加しました。研修会次第は下記のとおりです。

1、開会挨拶

一万人市民委員会 大川昭雄

2、宮城県からの挨拶

宮城県長寿社会政策課 課長 村上 靖

3、行政説明

宮城県長寿社会政策課指導班班長 土屋和宏

4、調査対象事業所に送付する「重要なお知らせ」、システムの変更点の説明

宮城県指定情報公表センター 三浦久美子

5、公表制度の意義について

宮城県指定情報公表センター 内田幸雄

6、調査のポイントについて

一万人市民委員会 仲野紀夫

7、閉会の挨拶

介護サービスネットワークみやぎ 入間田範子

◆平成26年度 第1回福祉サービス第三者評価フォローアップ研修が開催されました

2014年度第1回福祉サービス第三者評価フォローアップ研修が9月10日(水)東日本建物仙台駅前ビル2階セミナー室において開催されました。

【研修番外編】

9月20日(土)エル・パーク仙台スタジオホールに於いて開催された「せんだい医療・福祉多職種連携ネットワーク“ささかま hands”」主催による『MEDプレゼン2014@仙台』に荒井副代表理事と兼平理事が参加しました。

医療、社会を良くしように取り組む、医師(5名)・小規模多機能型居宅介護運営者・在宅管理栄養士・薬剤師・作業療法士・介護福祉士養成非常勤講師・地域包括支援センター保健師・介護老人福祉施設の施設長など12名の方々が「想いをのせた言葉は必ず形になる」をテーマに全身全霊で参加者に語りかけ共感を得ていました。

◆平成26年度 第1回情報の公表フォローアップ研修が開催されました

2014年度第1回介護サービス情報の公表フォローアップ研修が7月29日(火)仙台市生涯学習支援センターにおいて新調査員を交えた56人参加のもと開催されました。



研修風景



研修終了後紹介される新調査員の方々



2014年度 事業活動状況

◆福祉サービス第三者評価調査

- ・宮城県啓佑学園・第二啓佑学園 7月調査実施。
- ・宮城県船形コロニー 10月～11月 調査実施予定

◆介護サービス情報の公表訪問調査

介護サービス情報の公表訪問調査

8月～9月実施 合計：223施設

介護サービス情報訪問調査を8月から開始しました。

- ・介護老人福祉施設 : 13施設
- ・訪問介護 : 32施設
- ・訪問入浴介護 : 4施設
- ・福祉用具貸与 : 10施設
- ・居宅介護支援 : 48施設
- ・介護療養型医療施設 : 0施設
- ・特定施設入居者 : 2施設
- ・通所介護 : 57施設
- ・訪問看護 : 7施設
- ・介護老人保健施設 : 9施設
- ・通所リハビリテーション : 11施設
- ・訪問リハビリテーション : 2施設
- ・認知症対応型共同生活介護 : 26施設
- ・小規模多機能型居宅介護 : 2施設

* 公表結果は、<http://www.kaigokensaku.jp/>をご覧ください。

◆地域密着型サービス評価調査

地域密着型サービス外部評価調査

7月～9月実施 合計：28施設

地域密着型サービス外部評価を7月から開始しました。

- ・認知症対応型共同生活介護(グループホーム) : 25施設
- ・小規模多機能型居宅介護 : 3施設

* 自己評価及び外部評価結果は、ワムネット <http://www.wam.go.jp> をご覧ください。

■一万人市民委員会宮城事務局の
年末、年始休暇は
12月27日(土)～1月4日(日)
となります。

◆よろず相談会開催案内

身近な困りごと、悩みごとなどの相談会を当会顧問の武田貴志弁護士、安田廣治司法書士を相談役に、両先生から法律、成年後見関係の分野に限定せず、よろず相談会として、会員の方やそのご家族がお持ちの生活全般、法律相談などに関する「なんでも」相談としていくことの了解を頂きました。(無料です)

☆26年10月～27年1月までの開催日と担当相談役は次のとおりです。

- ・10月23日(木) 相談役 武田貴志弁護士
- ・11月18日(火) 相談役 安田廣治司法書士
- ・12月16日(火) 相談役 武田貴志弁護士
- ・1月27日(火) 相談役 安田廣治司法書士

時間と場所は次のとおりです。

- * 時間：午後1時～3時(毎回)
お一人様1回30分程度を予定
- * 場所：テルウエル相談室(一万人市民委員会宮城事務所隣り)

- * 受付電話：022-293-8158
- FAX：022-293-8230

☆申し込み締切日は開催日の7日前としますがそれ以降でもありましたら、連絡願います。

お気軽に相談願います。

■利用者(住民)の、利用者による、利用者のための『地域包括ケア』を創る宮城シンポジウム(9月25日開催)には、会員多数の方々に実行支援、出席いただき、無事盛況のうちに終えることができました。シンポジウムを開催するにあたり会員の皆様に御支援いただきましたことを、実行委員、事務局一同、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

■新調査員

2014年度の養成講習を修了し、調査員が加わりました

- ・福祉サービス第三者評価調査者 3名
- ・介護サービス情報の公表調査員 16名
- ・地域密着型サービス評価調査員 8名

※インフルエンザ流行期間に入ります。インフルエンザ予防接種の受診など、体調管理へ対応をお願いします。



わたしの介護予防発見？

常任理事 小山 照子

人間の年で言うところ100歳近い我が家の猫は、二最近足元おぼつかなく猫背(アタリマエかな)になり、太くドスのきいた鳴き声がかすれたか細いものになり、体重も2キロ近く減ったので病院へ行く。喉頭癌の疑いは晴れたが、念のための血液検査で心臓 肝臓 腎臓の機能低下がみられるが、年の割には元気ですねと嬉しいお言葉をいただき、老々介護の覚悟でいた私はホッと一息。最近一日一回はアイコンタクトで、ひざ枕を求める愛猫は何となく私に似てきている。書いたメモ帳を朝夕見ても、日程のズレを生じたり、ひとつの行動を起すのに大変な時間を要するのでも疲れる。

ところで物心両面の被災地支援をしてくれる遠くの友人からの暑中見舞いに、月日の速さを実感している。月1〜2回の仮設へのボランティア活動も入居者が新しい住まいに転る人が少なくなっている今、残る方々への接し方が改めて問われるこの頃だと思ふ。慣れも出てきて自分中心のものになっていないかと思うことがある。随分と顔なじみになってきているので、さりげなく会話に入りますが、その時コーヒーヤ

季節の茶菓子とお漬物が一役買っている。その仮設に合った旬のものを考えるのも大切な事で、作り方の質問も出たり、そこから被災者の方の郷土料理の話しに及び、今度はそれを教えてもらうことに発展することもあります。教えられたり教えたりしているうちに、図らずも今までの生き方を知ることになり、自然と距離感が近くなっていることに気づきうれしさと感ずる事がある。

又最近ナゾナゾ遊びが、老若男女を問わずグループホームでもうけることを発見し、自分のてらいや気負いを捨てて面白おかしく問題提起すると、あまりに馬鹿ばかしい答えに大笑いし、一挙にその場の垣根を取り払ってくれるのを実感している。また正解した時のどや顔はその人の自信につながるが、これは大いなる脳の活性化に貢献し介護予防になるのではと自負している。自分の枠を外し正直に生きることを楽しさが自ずと介護予防になっているのを実感する。

高齢化に伴い認知症が増えるのは必然と言われる時、いいもの見つけたいと思っている。

編集後記

どこからともなく雪の金木犀が、秋の到来を告げています。そんな中9月25日(木)に、11団体共催の「地域包括ケア」を創る宮城シンポジウムが開催されました。半年前から着々と準備を重ねて、紙面の写真に在ります様に当日は約500人の方々のご参加を頂き成功裏に終えることができました。ご協力頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。

拍倉副代表理事の含蓄ある内容の記事と、お人柄が表れている小山常任理事の日常が垣間見られる様でした。

一万人市民委員会の新しい調査員19名の方々の、抱負や感想などをご紹介させていただきました。「こちらこそどうぞよろしくお願い致します」と、思わずつよやまなくなりました。

前向きな姿勢とこれまでの豊富な人生経験を活かし、更なる介護サービスの向上に貢献できるよう期待しております。(栗原)



特定非営利活動法人
介護の社会化を進める
一万人市民委員会宮城県民の会
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウエル仙台ビル2階
Tel: 022-293-8158 Fax: 022-293-8230
ホームページ: <http://www.ichimannin.com/>
Email: ichimannin@alpha.ocn.ne.jp

編集委員: 荒井勝子 兼平幸雄 栗原節子 團 順子 前田泰子